

「キャリア教育」って、な～に？

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育です。(H23. 中央教育審議会)

キャリア教育は、子どもたちが社会で自立的に生きる基礎を培うことを目指して「学ぶこと」と「働くこと」、「生きること」をつなぐ教育活動です。

※キャリア発達：社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程

「学校におけるキャリア教育に関する総合的研究」(H23.3 国立教育政策研究所)



子どもたちは、

「なぜ勉強が必要なの？」こんな疑問に答えを見つけていきます。大人の働く姿を見て、頑張る意欲が育ちます。「社会の役に立つ」体験が、自尊感情・自己有用感を育みます。

先生たちは、

「育てたい子ども像」を話し合うことで、学校の目標を共有できます。「将来につながる学習」の充実で、授業に広がりが生まれます。学校内の協力体制づくりに役立ちます。

協働

保護者は、

夢をもって、いきいき学ぶ子どもの姿に出会えます。子どもが保護者の「働く」姿に気付き、家族の一員としての自覚が生まれます。

地域は、

地元のよさを地域や学校に発信できます。地域ぐるみで子どもを育てる環境が生まれます。地域を支える子どもたちが育ちます。

キャリア発達

就学前

小学生

社会的・職業的自立にかかる基盤形成の時期

中学生

現実的探索と暫定的選択の時期

高校生

現実的探索・試行と社会的移行の準備の時期

大学
専門学校
社会人



「キャリア教育」は、「フリーター」や「ニート」の増加など若年層の雇用問題に対する政府全体の対策として、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、内閣府が連携強化を図り、推進してきた経緯があります。現在は、産学民が一体となり、将来を担う子ども・若者が勤労観や社会性を養い、将来の職業や生き方について自覚を深められるように、就学前段階から取り組もうとしています。